

苦駒・法政大学合同合宿

8月16日から6日間の日程で苦駒と法政大学スピードスケート部が町内スケート少年団早来ジュニオール指導者の中村さん宅(早来北町)に拠点を置き、自転車などでの走り込みやローラースケートをはいて滑り込みを行なう練習を重点に合同合宿を実施。

19日安平町教育委員会豊島教育長は、選手たちの滞在先を訪れ、「今が体力づくりに大切な時期。怪我の無いよう頑張つて」と激励。今春、早来中から苦駒に進学した3名(中村隼人君、高山菜摘さん、佐々木結衣さん)と唯一の中学生高山瑞穂さん(早来中3年)も体力強化に汗を流しました。



生まれ変わった漬物樽

8月20日マチおこし研究所では「樽たるハウス」の落成式を行いました。

追分白樺1丁目の町有地に設置された施設は、安平の食品工場で漬物樽だったものを譲り受け、以来その活用法についてのアイデア募集・設計・完成までに時間と知恵を絞り多目的利用のできる施設に作り上げました。

生まれ変わった2つの大きな樽は「太陽北海道地域づくり財団」の助成を受けてウッドデッキを備えた堂々たる物に仕上がり、休憩所やフリーマーケット、子どもたちの遊び場と用途を限らず利用してもらえ工夫がされているので、ぜひ実際に見て楽しんでもらうことを期待しています。

安平町誘致企業会

ジュニアゴルフ教室・チャリティゴルフ大会を実施

安平町誘致企業会では、スポーツに対する関心を高めてもらいながら、ゴルフを通して社会生活に必要なルールやマナー指導を目的としたジュニアゴルフ教室を開催。

町内の小学1年生から中学生までの16名が参加しました。最終日となった8月9日、

実際のコースを体験しアプローチやパターの実践に悪戦苦闘を強いられながら、真剣なまなざしでカップインを狙いました。

同会では来年度以降も継続して行なっていくこととしています。



8月25日第19回安平町誘致企業会チャリティゴルフ大会をANAダイヤモンドゴルフクラブで開催。今年も業種を超えた企業から総勢148名が集まり交流を深めました。

表彰式では、今後の活躍が期待されるバレエボール少年団早来アクティブと追分FCに活動助成金の贈呈があり、早来アクティブの監督を務める若松淳さんから、子どもたちに代わりサインボールを大場会長に手渡す場面がありました。また、東日本震災における被災地の一日も早い復興を願い、参加者から募った義援金を日赤安平町分区長を務める瀧町長に託しました。

表彰式では、今後の活躍が期待されるバレエボール少年団早来アクティブと追分FCに活動助成金の贈呈があり、早来アクティブの監督を務める若松淳さんから、子どもたちに代わりサインボールを大場会長に手渡す場面がありました。また、東日本震災における被災地の一日も早い復興を願い、参加者から募った義援金を日赤安平町分区長を務める瀧町長に託しました。



今年はS.Lに乗って

特別住民として登録されている雪だるまの特別住民票無料交付を実施。今年のデザインはS.Lに乗った雪だるまがとて可愛らしく、8月8日から31日までに延べ103枚が交付されました。

窓口での交付第1号となつたのは札幌の方で、毎年郵送で交付申請をしていたが、今年は窓口でもらいたくて来町したそうです。町内にある雪だるまポストや看板を観て帰りますと話していました。